

9/13 晴

論説

2022.9.13

「辺野古反対」

民意と誠実に向き合え

沖縄県知事選で県議の玉城デニー氏が大差で再選された一事裏、名護市辺野古での米軍新基地建設に対する民意が問うかだ。政府は選民の声と誠実に向き合う、全国の児童として手をすべくだ。

辺野古の建設は、沖縄の歴史と文化を守るために、沖縄の民意を尊重するべきである。沖縄の民意が尊重されるべきである。

沖縄の民意が尊重されるべきである。沖縄の民意が尊重されるべきである。沖縄の民意が尊重されるべきである。

沖縄の民意が尊重されるべきである。沖縄の民意が尊重されるべきである。

沖縄の民意が尊重されるべきである。沖縄の民意が尊重されるべきである。

沖縄の民意が尊重されるべきである。沖縄の民意が尊重されるべきである。

沖縄の民意が尊重されるべきである。沖縄の民意が尊重されるべきである。

沖縄の民意が尊重されるべきである。沖縄の民意が尊重されるべきである。

米軍関連
開飛行場
(辺野古)
市)返還に
向け、政
は「辺野古
移設が唯
の解決策

高麗長官
との交渉に西原すみ
しる、辺野古移設「反対」の
民意が県レベルで示されたのは二
〇一四、一八年の知事選、一九年
の県民投票に続けて四回目だ。

政府は、民意に對して民主主義
や、地域の行政責任を負う地
方自治の原則からこれまで、國を
そらしてはならない。

今國の知事選では、自公両党が
推薦した佐喜眞淳元辺野古市長
が、辺野古移設への賛否を明確に
しめた前回から一転、移設容
認を掲げた。政権側はもとより辺
野古移設は主要な争点ではない
たと廢止されればいい。

海底の軟弱地盤を埋め立てて現
行計画の実現し求めめる民意は
玉城氏の得票三十四万票近くに
計画修正を訴えた下地幹郎元衆院
議員が導いた五万票余が加わり、有
効投票の大割合に達する。

今年、復帰五十周年記念式典開
催式にはなお在日米軍専用施設の
約七割が集中する。政府は、日本
安全保障条約体制が沖縄県の過
積な負担による維持されていない
ことに留意し、沖縄の負担を軽減す
る義務がある。

辺野古の埋め立てを終り、政
府は今年七月までに必要な土砂量
の11・7%を投入したが、今は昨
年十一月、軟弱地盤改良に向けた
防護柵の設置を実施せず、政
府が真意の訴訟に踏み切ること。
工事を実現は避けられない。

政府が新基地の完成を強行され
ば、県民の不徳意を露むるだけ
だ。地域住民の理解を尊重とする
米軍施設の安定性や持続可能性を
保てるのか。中国が選挙的圧力を
施め、台湾海峡の封鎖性を強調さ
れる中、かえって日本米軍との抑止
力が損ないよほならぬ。なぜか。
岸田文雄首相は半島安全保障に代表
されると、台湾海峡の封鎖性を強調さ
れては、台湾海峡を代々繁榮の検
討を呼び掛けるべきである。